

馬場ひでゆきの活動日誌

No.79

県議会の建物の中にと、他の議員やマスコミ関係者に会うことができるので、現在進行形の県政の動きを肌で噛みしめることができます。

今、柏崎刈羽原発の再稼働に向けた動きが急になっていきます。

再稼働「条件整わず」6割

新潟県は、10月1日、柏崎刈羽原発の再稼働に関する県民意識調査の途中経過を公表しました。「再稼働の条件は現状で整っている」かとの問に対して『条件整わず』という意見が6割になりました。「どのような対策を行ったとしても再稼働すべきではない」については肯定的な意見が48%、否定的な意見が50%と賛否が拮抗しました。

柏崎刈羽原子力発電所の再稼働

12月議会が最大のヤマ場

調査結果は、県民の中に原発再稼働に対する根強い不安があることを裏付けています。

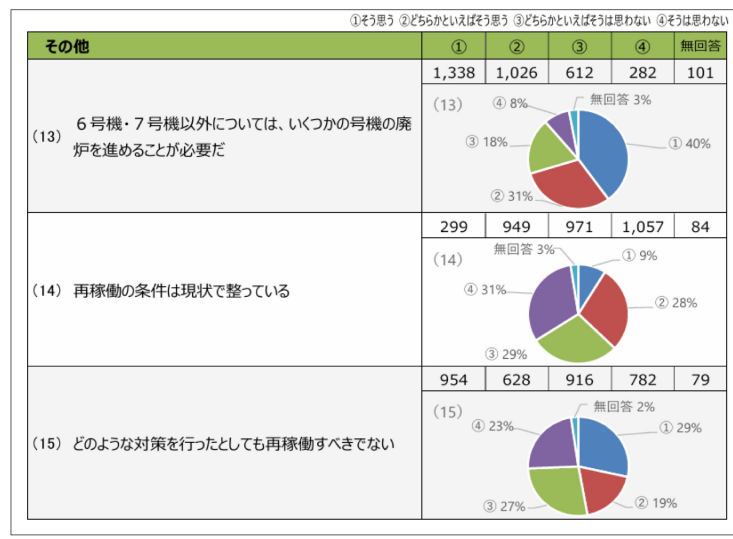
再稼働勢力が大攻勢

ところが、東京電力と国、県は原発再稼働に向け急速な動きを見せています。

東京電力は、原発再稼働を条件に県に対して1000億円の資金援助、又1〜5号機の一部の廃炉を表明する予定です。国は、避難道路を全額国費で整備することを約束しました。

県議会は、16日に資源エネルギー庁村瀬長官らを参考人招致、県議会自民党は、議会最終日に

花角知事の意見を尊重することを求める意見書案の採択を求めます。これらについて、関係者はすべて「是」の回答と回答する



ことのお膳立てになっっています。

12月議会が最大のヤマ場？

知事は、10月末頃に示される県民意識調査の最終結果と同時に、再稼働の是非の判断を示し、県民の意思の確認方法を明らかにする旨発言しています。

知事は、8年前、「再稼働の是非は県民に信を問います」として当選しました（左の写真参照）が、最近「①原発の再稼働について県民の意思を確認する、②意思の確認方法については何も決めていない。③県民に信を問うことが最も重い」と発言を変えました。

「県民の意思の確認」という言葉を使い、「県民の信を問う」（県民投票或いは県知事選）一択ではなく、県議会の議決までも選択肢に加えたのです。

政界・経済界からは県議会で結論を求めればいいとの声が起こってきています。

こういった状況で、知事は、10月末に再稼働を「是」とする判断をし、12月議会でも知事に対する信任決議を得て、すべてを終わりにしてしまう可能性もあります。「県民に信を問え」と批判の声を強めましょう。

雇用と所得アップで活力あふれる新潟県に!!

脱原発の社会をめざします。

新潟県の3つの検証が終わるまで再稼働の議論はしません! 再稼働の是非は、県民に信を問います!

県民最優先 安全・安心第一。

街頭政談演説会のご案内

本日9日(土) 17:00~

新潟県南口中央広場

元新潟県知事 村瀬長官 招致

▲花角知事が初当選した県知事選投票日前日(2018年6月9日)の新聞全面広告

県立上越特別支援学校有恒学舎

開校記念式典

10月4日、板倉区で上越特別支援学校有恒学舎の開校記念式典が開催されました。

同校は、有恒高校の校舎2階部分を使用します。有恒高校が生徒数の減少により空き教室が多くなっていたことや、同校の存続を図る手段の一つとして地域が受け入れたことを背景に実現しました。

今年は、生徒5人、教員6名の体制で授業が行われています。式典では、生徒代表が「夢をかなえるために、自分の未来を切り開くために、頑張りたい」と勉学への決意を語ってくれました。生徒5人の自己紹介動画も披露され、一人一人を大切にするという学校の姿勢が伝わってきました。

9月27日、10月10日

- 9月27日 前島密誕生190年を祝う会（ホテルハイマート）
- 30日 県議会開会・知事説明
- 10月2日 県議会・代表質問
- 3日 県議会・一般質問
- 4日 上越特別支援学校有恒学舎開校記念式
- 4日 わくわく秋まつりin牧（金井重機駐車場）

牧区の金井重機さんの広大な敷地を利用した秋祭り。お店がたくさん出ていて大盛況でした。親子でアクセサリーを作るブースがあったり、子どもさんが重機の操作を体験できたり、子どもから大人まで一緒に楽しめるお祭でした。これからもぜひ続けていただきたいと思います。



- 4日 上越市消費者協会創立20周年記念・三遊亭白鳥独演会「特殊詐欺を笑い飛ばそう」（デュオセレッソ）

白鳥は、「落語は聞き手に想像力を掻き立てて頭を柔軟にさせる効果がある、騙されないうめには、落語を聞くのが一番」と力説しました。

白鳥は、私の高校時代の友人

「清里の花火 2025年」

10月11日は、清里区の大花火大会でした。花火大会は、全国各地、県内各地いろいろありますが、私の一推しは、この清里区の花火です（日誌31号に書きました）。例年は8月開催ですが、今年は水不足で、10月に延期されていたのです。

今年8月、清里区の稲葉浩一さん（享年64歳）が亡くなりました。私のいとこです。

子どもの頃は、毎年8月15日、16日は清里の稲葉家に泊まり、菅原神社の例大祭に浩一さん家族と一緒に行ってました。楽しかったです。

浩一さんは、その頃から、天文に興味をもち、教員を志望していました。念願叶い、理科教員となり、長年、県内の中学校で子どもたちを教えてきました。退職後も、教育委員会や地域の仕事をしていました。

周りからの信頼が厚く、今年からは地域の振興会の責任者となり、地元での活躍が期待されていました。突然の訃報を聞いたときは、切なさがこみあげました。

11日は、浩一さんの49日法要があり、それを終えて清里の高台にある祭りの会場に向かいました。午前中に降っていた雨も上がっていました。家族ご親戚の方々が協賛したでっかい花火が夜空に上がりました。今年の清里の花火は、浩一さんの追悼の花火になりました。



です。60歳を越えてもますます意気盛んです（写真右）。元気をいただきました。

- 6日 県議会・一般質問
- 7、9日 県議会・常任委員会
- 8日の建設公安委員会では、トキエアの条件変更の話が出てきてびっくり。詳細は次号で。

募集中

出張馬場のおしゃべり会

少人数の「おしゃべり会」をさせていただける場を設けてくださる方を募集中です。

お茶飲み友達や、趣味の仲間などにお声掛けいただければうれしいです。ご希望があればどこでも行きます！

お問い合わせは事務所まで。
☎ 025-546-7110

発行責任者：馬場ひでゆき事務所
住所 新潟県上越市本町3丁目3番3号
ダイヤパレス高田式番館2階
電話 025-546-7110
ファックス 025-546-7666
メール kengi-babahideyuki@wind.ocn.ne.jp